



神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより

令和3年12月13日 No.20

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】

郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、

たくましく生きる児童・生徒の育成

・進んで学ぶ子

・思いやりのある子

・元気な子

・ふるさと大好き神内っ子



人権について考える ～校内人権週間～

12月6日(月)～10日(金)は、校内人権週間でした。人権とは、『人間が人間らしく生きる権利』のことで、私たちが幸せに生きるために、とても大切なものです。私たちの社会には、様々な人権課題があります。残念ながら、私たち大人がなくなっていくとかなければならない課題です。どの項目も、その人の人権を、自分の人権と同じように大切に思うことでなくしていくことができます。これから未来を生きるどの子どもたちも、偏見や差別といった障壁がなく、自分の人生を幸せに歩むことができるために、まず私たち大人が正しい人権感覚を持つことが必要です。そして、子どもたちに正しく伝えることが大切です。マザー・テレサの有名な言葉に、『愛の反対は憎しみではなく無関心である』とあります。いろいろな報道があったり、子どもが関心を持ったりした時に、話題にして、話をさせていただきたいと思います。

学校では、『思いやり』と『友達を大切にすること』を伝えています。道徳や学級活動の中で、人権について考え、自分や学級として取り組んでいくことについて話し合い、『なかよし宣言』をつくりました。7日には、今年度初めて全校児童が体育館に集まって「なかよし集会」を開き、そこで『なかよし宣言』を学級の代表が発表しました。「たすけあい」「やさしさ」「笑顔」「意見・個性・思い・気持ち」を大切にす温かく、力強い宣言です。「気づく」というキーワードもありました。周りの人に関心を持ち、辛い思いに気づくことができれば、誰でも安心して生活できます。子どもたちと一緒に、そんな学校にしていきたいと思っています。集会では、パラダイス班で人権パズルや『ふわふわ言葉』を考えたり、ゲームをしたりしました。子どもたちは、話し合いや協力する中で、大切なことを学んでいました。とても温かい集会でした。

人権啓発活動 強調項目 ～法務省 HP より～

- (1) 女性の人権を守ろう
- (2) 子どもの人権を守ろう
- (3) 高齢者の人権を守ろう
- (4) 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- (5) 部落差別(同和問題)を解消しよう
- (6) アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- (7) 外国人の人権を尊重しよう
- (8) 感染症に関連する偏見や差別をなくそう
- (9) ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別をなくそう
- (10) 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう
- (11) 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- (12) インターネットによる人権侵害をなくそう
- (13) 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- (14) ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- (15) 性的指向及び性自認(性同一性)を理由とする偏見や差別をなくそう
- (16) 人身取引をなくそう
- (17) 東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう



「なかよし宣言」と、なかよし集会で考えた『ふわふわ言葉』を校内に掲示しています。



3年生の道徳科では、「ほかほか言葉」を学習しました。言葉によって、どんな気持ちになるかを考えました。最後に、うれしかったときの気持ちをカードに書きました。



全校の児童が、うれしかった時の気持ちを書いたカードを校内に設置した『やさしさの木』に貼り付けています。7本の木にはたくさんカードが貼られ、学校がやさしさであふれています。

4年生教室では、してもらってうれしかったことをカードに書いて、「ありがとうツリー」にしています。教室がありがとうでいっぱいです。



ご協力ありがとうございます

図書館のバーコード化による貸出の準備のために、蔵書にバーコードを貼るボランティアをお願いしたところ、延べ30名近くの方にご協力いただいています。手際よく作業をしてくださるので、とてもはかどっています。お忙しい中、お時間を作って協力してくださることに感謝の気持ちでいっぱいです。

